

令和 8 年度内子町ビジネスプランコンテスト企画・運営委託業務
公募型プロポーザルの特定結果について

令和 8 年 7 月 17 日

標記の公募型プロポーザルについて令和 8 年 7 月 17 日に実施し、下記のとおり受託候補者を特定しましたので、公表します。

1_件名：令和 8 年度内子町ビジネスプランコンテスト企画・運営委託業務

2_業務内容：ビジネスプランコンテストの開催を通じて、地域に根差す人材とビジネスの発掘・育成を図り、内子町町内での起業及び事業化につなげることを目的とする。あわせて、起業志向を持つ人材や地元志向の若者等の移住・定住を促進する仕組みを構築し継続的な地域経済の活性化に寄与することを目指す。この目的を達成するため、町内外から広く応募者を募り、優れたアイデアのブラッシュアップを行い、継続的かつ安定的に収益を確保できる事業の立ち上げを支援する。さらに、コンテスト終了後においても事業の定着および発展につながるよう支援する。

3_受託候補者：合同会社 LOCUS BRiDGE

4_参考見積金額：6, 6 5 5, 0 0 0 円（消費税及び地方消費税を含む）

5_選考委員：委員長 松村 暢彦（愛媛大学社会共創学部 学部長）
委員 山岡 敦（内子町副町長）
委員 池田 央（内子町商工会 会長）
委員 宇都宮 啓之（内子まちづくり商店街協同組合 代表理事）
委員 畑野 亮一（内子町観光協会 事務局長）
委員 上山 淳一（総務課長）
委員 二宮 大昌（企画情報課長）
委員 高山 重樹（町並・地域振興課長）

6_評価結果：得点 81.79 点／100 点（※参加事業者は 1 社のみ）

7_審査委員長講評： 今回の審査結果は、地域に根差したビジネスの育成という本コンテストの趣旨に照らし、妥当なものであったと考えております。

今回はローカルの部分をしっかりと育てていくことを軸にしていくことは、大きな意義があると評価できます。具体的には、U-25 世代の若者や、すでに地元で起業している事業者による新たな商品・サービス開発といった取り組みがしっかり位置づけられており、地域に根差したビ

ジネスの継続・発展につながるものと期待しています。

加えて、新規起業・新規事業創出部門において、今後大きく成長していく可能性を持つ事業が生まれてくることにも期待しています。

また、内子町の指定管理者である点を踏まえると、これまで培ってきた地域ネットワークを活かしながら、本コンテストの運営や事業化支援において十分なサポートが発揮されるものと考えております。

新規起業・新規事業創出部門から新たな事業が育っていくことで、内子町に新たな活力がもたらされることを期待しております。来年度以降の展開が大変楽しみです。